

平成 29 年 6 月 4 日

芦屋市企画部市民参画課
課長 山田 弥生 様

芦屋市立あしや市民活動センターリードあしや
(指定管理者：(特活) あしや NPO センター)
事務局長 橋野 浩美

トライやる・ウィーク受入事業報告書

日 時：平成 29 年 5 月 29 日 (月) ～ 6 月 2 日 (金) 9 時～15 時

学 校：精道中学校 3 人

協力団体：(社福) 三田谷治療教育、(認特) フードバンク関西

目 的：ボランティア、NPO とは何かを理解してもらい、市民活動団体の支援の場
である市民活動センターの存在を若い世代から理解していただくこと。

内 容：1 日目：NPO とは (NPO 団体の活動体験と座学)
2 日目：センターの機能を知る。(センター内ふしぎ発見と機器体験等)
3 日目：ボランティアとは (障がい者施設の訪問と座学)
4 日目：会議体験と振り返り
5 日目：成果発表会

評 価：昨年度同様に他団体の協力もあり、計画は全体的に充実していた。
他団体訪問によって、団体同士の繋がりというもの、団体の支援ということも、生徒たちには理解してもらったようだった。
生徒たちは印刷体験等の作業は楽しげであったが、学びの部分は初めての言葉などに戸惑っていたように見受けられた。
当センターの職員の学びの場ともなった。

成 果：他団体訪問のレポートや、日々の振り返り、成果発表会から、ボランティア、NPO について理解していることがわかった。生徒の毎日の日誌には、保護者のコメントもあり、生徒からは保護者とよく話をしていることを伺い、当センターのことも知ってもらったように思えた。

振り返り：今年度は、精道中学校 1 校のみの受け入れであったが、生徒からは自ら選んだことを伺い、ボランティア意欲を感じた。5 日間でリードあしやの仕事内容や、中間支援を理解するのは難しく思えたが、生徒たちはそれなりに吸収したようで、目的は達成したと考える。
今後、彼らが市民活動に興味を持ち、このセンターを利用していくことを期待している。



	山崎	池下	田島
1
2
3
4
5

ドライやる、カー、カー
精進中学校

山崎 池下 田島

1日目 フードバンク関西
到着すると、大きな冷蔵庫やダンボールがあれその中にはたくさんのお食品があった。僕は商品と不良品を分け作業をした。時間がながかかった。

NPOについて
(1日目の午後からはNPOについて学んだ。NPOは非営利組織というのだ。非営利組織にはたくさんある。その中でもあり方はそれぞれ異なる。

2日目 機器等運管体験
今日は、パソコンの操作の仕方について学んだ。先生が丁寧に教えてくれた。とても楽しかった。

障がい者施設
館内は広くてとても設備が整っていた。交流スペースや廊下も広くていい。また、廊下も多岐にわたって、障がい者施設に合った設備が整っていた。障がい者施設には、障がい者だけでなく、職員やボランティアもいる。障がい者施設には、障がい者だけでなく、職員やボランティアもいる。障がい者施設には、障がい者だけでなく、職員やボランティアもいる。

4日目 会議のレクチャー
会議のレクチャーでは、学校と違って、いろいろなところから集まってきた。一つは、項目ごとに分けること。大事なのは、大きな企画も、小さな項目ごとに分けるのは意見を出しやすいこと。最後に、経験量によって、意見を言うスピードが違ってきます。これからの学校生活に活かしたいことを話しました。

まとめ
今回は、ドライやる、カー、カーNPOをボランティアとして体験することができました。障がい者施設やNPOについて学びました。また、会議のレクチャーでも、いろいろな意見を出し合いました。これからの学校生活に活かしたいと思います。